

【可児市】
校務 DX 計画

1 教職員用 1 人 1 台タブレット端末の整備

令和 3 年度に教職員用 1 人 1 台タブレットの整備を完了しています。令和 7 年度から LTE モデルの端末を採用し、教育委員会事務局職員分を含め整備することで、コラボレーションツール（Microsoft Teams）を活用して連絡が取りあえる環境を整えます。

2 ネットワーク環境

校務用端末について、令和 7 年 9 月の更新に併せてゼロトラストに基づくセキュリティ対策を導入し、業務のロケーションフリーが可能な校務環境の構築を予定しています。

3 校務のデジタル化

教職員 1 人 1 人に業務用メールアドレスを付与しており、外部との連絡に活用しています。令和 5 年度から保護者連絡アプリを導入しており、保護者への連絡についても教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化ができる環境を構築しています。今後 1 人 1 台端末で利用している Microsoft アカウントを活用して学校－学校間、市教育委員会－学校間の文書連絡・資料送付に活用していく予定です。また、FAX での対応しかできない業者のやりとり等を除いて、FAX 及び押印の原則廃止を進めていきます。

4 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃

令和 7 年度から、本市では ICT 支援員の配置を強化し、各小中学校に週 1 回の割合で ICT 支援員が在中する体制とします。これにより、名簿データのインポートをはじめとする、学校での ICT に関する様々な処理について、教職員は直接 ICT 支援員に質問することが可能となります。

さらに、Microsoft Teams 内に、市内小中学校の全教職員および教育委員会事務局職員が参加するチームを設置します。このチームでは、ICT ツールの使用方法に関する解説動画などを随時アップロードし、いつでもどこからでも視聴できる環境を整えることを予定しています。

5 次世代校務システムの導入に向けて

現在岐阜県化統一のプライベートクラウドで運用している校務支援システムを利用しています。令和 8 年度に県下統一で更新計画があり、パブリッククラウドを利用したシステムの導入を検討しています。